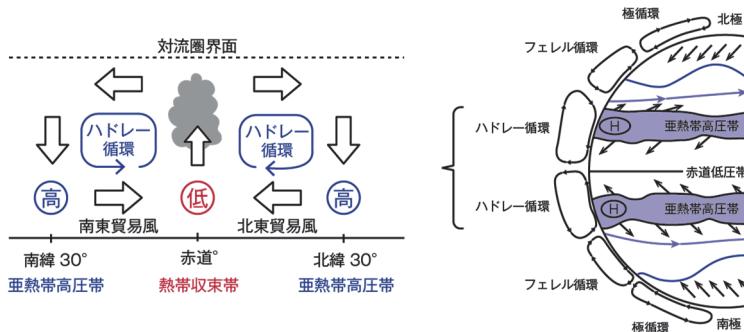


ア ハドレー循環（赤道～緯度 30°付近）



ハドレー循環は、赤道を挟んで南北 30° のエリアに存在する循環です。

- メカニズム（赤道付近を始点として）

< 北半球 >

< 南半球 >

赤道付近の暖かい空気が上昇気流となり、対流が発達（赤道収束帯）。
→上昇気流は対流圏界面でそれ以上上昇できなくなり、高緯度側へ移動。

はじめ北へ向かうが、コリオリ力によって進行方向右向きに曲げられ、南西風となる。

はじめ南へ向かうが、コリオリ力によって進行方向左向きに曲げられ、北西風となる。

次第に温度が下がり、緯度 30° 付近で下降気流となる（亞熱帯高圧帯）。
→降りた空気は地表付近で行き場を失い、低圧側（赤道側）へ曲げられ・・・

コリオリ力の影響で次第に北東風となる（北東貿易風）

コリオリ力の影響で次第に南東風となる（南東貿易風）